



CAMPUS

Vol. 136

2021 AUTUMN
奈良工業高等専門学校

令和3年11月発行

〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22

奈良工業高等専門学校 広報センター

TEL. 0743-55-6034 (CAMPUS担当)

ホームページ <https://www.nara-k.ac.jp>

メールアドレス gakusei@jimu.nara-k.ac.jp

秋季スポーツ大会



ロボコン近畿地区大会優勝!



第55回 高専祭



C contents

- 巻頭言 02
- コロナ禍の課外活動について 03
- 新入生の声
- 学外実習(インターンシップ)報告 04
- インターンシップ報告
- 学生の活躍 全国大会出場報告など 05
- 学生会新役員挨拶 06

- クラブ・同好会紹介(ハンドボール 軽音楽) 07
- 学生支援センターから
- オンライン高専祭開催 08
- 関西NBCニュービジネスアワード
- (ビジネスプラン部門) 最優秀賞を受賞して
- 高専からKOSENへ
- グローバル教育センターから 09
- ～令和2・3年度入学留学生紹介～
- Library News～図書館だより～ 10

I information

- ☆高専ロボコン2021近畿地区大会報告
- Bチーム優勝!!
- Aチーム技術賞受賞!!
- ☆学生課窓口のご案内
- ☆行事予定(12月～3月)



片倉 勝己

教務主事

10月上旬、2021年度ノーベル賞の授賞者が発表されました。授賞式はAlfred B. Nobelの命日にあたる12月10日、新型コロナウイルスパンデミックの影響でオンライン形式で挙行されるようです。ノーベル財団のHP (<https://www.nobelprize.org/>)によれば、ノーベル賞は、1896年に亡くなったノーベルが、自分がダイナマイト事業等で築いた資産の大半を安全証券に変えて得た利子で、人種・国籍を問わず前年に人々に最大の貢献をした人(物理学、化学、生理学・医学、文学部門、平和部門)に賞を授与するよう遺言したことによるとされています。当初、彼の業績への評価や賞の遺言については論争があったようで、最初のノーベル賞が授与されたのは彼が亡くなった6年後のことでした。みなさんご存知のように、ノーベルの最も有名な業績はダイナマイトの発明(1866年)ですが、355もの特許を取得していたそうです。ノーベルは、建設工事等で安全に扱える強力な爆薬があれば作業が安全かつ効率的にできると考え、1846年に初めて人工合成された爆発性が高く非常に扱いにくい化学物質であるニトログリセリンを、工事現場で安全に扱えるように工夫してダイナマイトを発明したと言われています。ダイナマイトは産業発展に多大な貢献をしましたが、兵器利用という暗い側面もありノーベルはさまざまな評価を受けたようです。しかし、彼が平和で豊かな社会を強く意識していたという点は一致しているのではないのでしょうか。

さて、高専制度が発足して来年で60年、ノーベル賞の歴史の半分程度ですが、この間もノーベル賞が授与された科学技術に関する発明・発見は多数ありました。しかし、それ以外にも数多くの科学者・技術者によって無数の発見・発明があり、科学技術を飛躍的に発展させ、私たちの生活も様々な面で便利になりました。衣・住面だけでなく、伸縮性、吸水性、撥水性、保温性、耐熱性のある高機能素材の発明、耐震・免震住居、エコ住居、各種スマート家電、いつでも無線でインターネットに接続して必要な情報を入手したり遠方の人と通信したりできる携帯情報端末の発達などがあげられますし、医療分野でも、各種検査・分析装置や治療薬、ワクチン、人工義肢、IPS細胞な

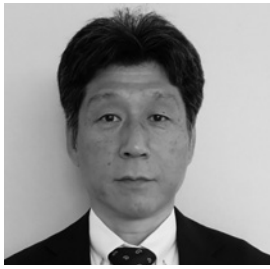
ど、多くの新技術の発見がありました。もちろん、このような革新的な産業や技術の発展に奈良高専を巣立った卒業生が貢献してきたことも、覚えておいてください。

ところで、先に紹介したノーベルは、建設工事等での利用を考えてダイナマイトを発明し、それ以外の産業にも多大な貢献をしました。しかし、それだけに留まらず発明によって生涯に得た資産をノーベル賞として未来の人類の平和と発展のために投資しました。ノーベルは、ダイナマイトに無限の付加価値を付与したのだと思います。日本の歴史も振り返ってみましょう。今から1300年前、本校が所在する奈良は国際文化都市として栄え、世界の科学技術の粋が集まっていたものと想像されます。当時、紙・墨・筆といった文化の発展に必須な道具は海外から輸入されていたようです。しかし610年に製墨法が、806年ごろに唐から帰国した空海によって筆の製造技術が、朝鮮の僧から610年ごろに紙の製法がそれぞれ日本に伝わると、私たちの先人は、これらの製品を自ら生産する技術を身につけて改良する道を選んだのです。紙・墨・筆は、独自のアイデアで技術進化を遂げながら付加価値のある製品となって現在に至っています。他にも、発明された技術が、何らかの形で付加価値のある新しい形になった例は数多くあるのではないのでしょうか。

このような技術の進化を果たしてきた技術者・科学者のモチベーションは何だったのでしょうか。そこには、知的好奇心や豊かな生活と社会のため、さらには人類存続のためなど、様々な理由があり、開発手法も様々だったと思います。手法や理由は違っても、科学技術の開発には、自然の摂理を源にした挑戦があったはずで、学生皆さんも、先人が切り拓いてきた学問や技術を通じて自然の摂理を理解し、対話の仕方を学び、そしてその助けを借りながら様々な付加価値を見出して新しい技術を創造しようと、今まさに学んでいるところだと思えます。それでは、自然の摂理の探求は終わったのでしょうか?いいえ、自然の摂理の中には未知のことがたくさんあり世界中の技術者や科学者が探求を続けています。最新のAI技術等を駆使する事で新たな発見に繋がる事もあるでしょうが、素朴な疑問や興味と真摯な気持ちで自然界を観察し働きかける営みが、その基本であることは間違いありません。学生の皆さんも、この基本を忘れないで欲しいと思います。

さらに、エネルギー・環境問題や新しいウイルスとの戦いなどの人類への脅威が立ちはだかる中、研究者・技術者には、これらの新たな課題を解決して持続可能な未来社会を構築するという新たな使命も求められるようになりました。これらの課題も含め近年の問題の多くは複数の要因が複雑に絡み合っており、その解決には個別の課題に対応できる高度な専門性だけでなく、多岐にわたる課題の全容を俯瞰しながら対応できる多面的な能力が必要となります。学生の皆さんには、それぞれの専門分野における知識や技術に加えて自分の宝となる力を付加価値として身につけ、個性ある高度な技術者・研究者を目指していただくことを願います。





新型コロナウイルス感染症の拡大のため、全国の高専や大学では課外活動が断続的に制限されています。本校では、コロナ禍の学校活動基準としてレベル0(通常時)から4(入校禁止)が設定されており、課外活動については原則レベル1(制限小)以下でなければ活動できないことになっています。レベル1では、本校の「新型コロナウイルス感染症対策のためのハンドブック」を基本に、クラブ・同好会ごとの活動形態や特徴に則した感染防止対策を追加し、毎回その内容を確認することにより活動しています。また、活動にあたっては、活動制限の強い「ステップ0」から、弱い「ステップ4」までの段階を設定し、奈良県及び周辺地域の感染状況に応じて活動内容を見直しています。

この夏も、新規感染者数が急増したため活動が制限されましたが、公式大会については主催者の感染防止対策に従って参加したクラブ・同好会もありました。十分な練習や準備時間がなかったにもかかわらず、全国大会で準優勝や特別賞に輝くなど素晴らしい成績を残すことができたことは、コロナ禍の中の嬉しい報告でした。

今後も、課外活動については断続的な活動になると思いますが、十分な感染防止対策を講じた上で活動していきたいと考えています。学生・保護者のみなさまのご理解とご協力をお願い致します。



新入生の声

新入生の皆さんに高専生活の感想を聞いてみました。

●機械工作実習を体験して

機械工学科1年 南崎 壽伸

私は高専に入学する前に、体験入学へ参加しました。そこで機械工学科の実習工場を見たときに、早く自分もいろいろな機械を扱いたい、機械を使って物を作りたいと思っていました。実習が始まる前は、何ができるのか楽しみな反面、失敗しないかという緊張もありましたが、いざ始めると想像していた何倍も面白く、見たことのない道具やなぜその動きが必要なのかなど、多くのことを学ぶことができました。まだまだ分からないことも多く、課題やレポートに追われる日もありますが、これから5年間、新しいことを学べると思うと楽しみで仕方がないです。

●水泳部に入部して

電気工学科1年 高田 葉奈

私は多くの部活がある中で、先輩方の明るく和気あいあいとした雰囲気に着かれ水泳部に入部しました。始めは、先輩方との年齢の差に戸惑うと思っていましたが、男女関係なくたくさん話しかけてくださり、すぐに打ち解けることができました。普段の活動では、やるときはやる、楽しむ時はとことん楽しむからこそ頑張れます。特に夏休みは高専大会に向けて練習に励みました。今はコロナ禍で活動に制限がありますが、その中でも充実した学生生活を送れています。これからもより一層学業と部活を両立し、学生生活に取り組んでいきたいと思えます！

●奈良高専での授業・実験・学校行事

電子制御工学科1年 丸本 彪生

私は奈良高専への入学前、新型コロナウイルスの影響で十分な授業を受けられるのか不安に思っていたときがありました。入学して半年が経った今、オンライン授業でも対面のときとほぼ同等の授業を受ける事ができることが分かり、そのような不安は完全にはなくなりました。また、専門教科の実験では、ほとんど専門知識が無かった私でも十分に理解して実験に取り組むことができ、レポートが書けるほど丁寧に教えて頂きました。しかし、スポーツ大会が延期になったり高専祭がオンライン開催になったりと、楽しみにしていた学校行事が通常どおりの“オフライン”開催ができなくなってしまった事をとても残念に思っています。来年や再来年は全力で学校行事も楽しめることを期待しています。

●入学式の宣誓を務めて

情報工学科1年 升岡 瑞葉

宣誓をすると聞いたときは、「なぜ私が?」という気持ちでいっぱいでした。宣誓から半年以上経った今でも疑問に思っています。「本番で噛まないか」、「早口にならないか」と、とても不安で春休み中は浮き足立っていました。そして、無事に宣誓が終わると、安心すると同時にこれからどんな学校生活が始まるのかと胸が高鳴りました。残念ながらコロナ禍によりほとんどの行事がなくなり、思い描いていた学校生活とは違うものとなっています。それでも、このご時世だからこそ経験できることがあると信じて、精一杯高専生活を過ごしたいです。

●縦のつながり

物質化学工学科1年 服部 文音

私は化学同好会に所属していますが、この部活では、部員が各々興味をもった事象について調査したり、実験を行ったりしています。また、年に一度開催される高専祭の展示に向けた活動も行っています。

この部活は物質化学工学科の学生ばかりなので、先輩たちとすぐに繋がることができ、他の部活より学科の先輩と出会うやすいのが特徴です。

部活動と学業を両立されている先輩方のお話を聞いて感心することも多く、また、自分の将来に繋がりそうなお話も多く聞いて嬉しいです。特に、対応が丁寧で素早く、それでいて自分の意見もしっかり言える先輩が上級生にいますので、私もそんな先輩になることを目標に活動しています。





本校では学生のキャリア教育を目的として、本科4年、専攻科の選択科目として「学外実習」を設定しています。4年生は夏季休業期間に5日間以上、専攻科生は長期休業期間を中心に10日間以上の就業実習に取り組みます。業務日誌と実習報告書の提出、各科報告会での実習内容の発表を総合的に評価し、単位が認定されます。

近年、企業においてインターンシップは、キャリア教育のみならず、採用活動や入社後のミスマッチの防止の目的を強くする傾向があり、応募に際しての志望理由の明確化等の事前準備の重要性がさらに増しています。

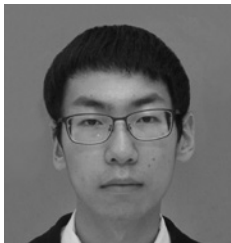
今年度コロナ禍ではありましたが、公募制の企業を含めて167件の募集案内をいただきました。5月以降、各学科、専攻科におけるガイダンス、実習先企業の調整を行いました。7月には働く意義、マナー、礼儀、敬語の使い方の講演会を開催いたしました。

残念ながら、8・9月にコロナウイルス感染拡大のピークを迎えたため、インターンシップを中止する企業が相次ぎ、最終的な実習参加人数は、本科4年生80名(M:14名、E:18名、S:21名、I:5名、C:22名)、専攻科生19名(AM6名、AE8名、AI4名、MC1名)となりました。残念ながら参加できなかった学生も、学外実習の準備の過程が自身のキャリアを具体的に考える貴重な機会となったのではないかと思います。来年度は多くの学生が参加できる状況となることを願います。

最後になりましたが、本校学生の受け入れをご快諾いただきました企業の皆様、各学科・専攻科において学生の事前指導や実習先企業の調整などにご尽力いただきました教員の皆様、事前講習特別講演会にてご講演いただきましたならジョブカフェ キャリアコンサルタントの金子妙子様、その他関係いただきました皆様に深く感謝いたします。



インターンシップ報告



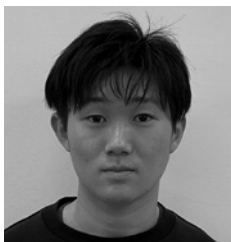
電子制御工学科4年
天野 晃汰

私は株式会社近計システムのインターンシップにて実習を行いました。実習はサーバ構築の基礎的な知識や技術の習得がメインで、最終日には全体を通しての成果発表を行いました。本インターンシップの担当部署では、20人ほどがハードからソフトまでの様々な開発をされていました。このような現場を見ることで、私の仕事に対するイメージもより具体的になりました。最初は実習以外にも社内での規則やマナーなどの多くのことに戸惑いましたが、次第に職場にも溶け込めるようになり、最終的には学校生活では得難い、とても濃い5日間を過ごすことができました。この経験と実習で感じたことを忘れず、これからも自分の将来に向き合っていこうと思います。



物質化学工学科4年
奥 涼奈

私は大日精化工業株式会社のオンラインインターンシップに参加させていただきました。オンラインということで不安もありましたが、リアルタイムでの検査業務視聴や調色実習などのプログラムにより、充実した経験をする事ができました。また、高専卒の方との懇談会では、学生のうちには勉強だけではなく多くの経験しておくことが大切だ、ということをお教いただきました。オンラインでも十分に学ぶことができましたが、実際に工場で体験をして、「働く」ということを肌で感じたかったという悔しい思いもあります。状況が落ち着き次第、工場見学も受け付けているとのことなので、ぜひ参加したいと思います。



専攻科
システム創成工学専攻
機械制御システムコース1年
榎 和馬

私は奈良先端科学技術大学院大学の生体プロセス工学研究室にお世話になり、大学院の研究に触れさせていただきました。こちらの研究室では細胞の操作および加工を目的とした研究を行うため、レーザーの射出装置など様々な実験装置が用いられています。研究室では学生・教授関係なく活発に意見を出し合い、熱心に研究する姿がとても印象的でした。実習では植物の細胞を用いた実験を行わせていただくという貴重な体験をさせていただきました。この経験をもとに更なる研究力の向上を目指し、進路の決定に役立てようと思います。



専攻科
システム創成工学専攻
機械制御システムコース1年
中川 龍生

この夏に奈良の地元企業である株式会社藤田油機にてインターンシップを体験させていただきました。この会社は従業員数50名ほどの中小企業で、非常に社員同士の距離が近かったことが印象に残っています。今回は主に油圧機器の設計や電気制御の実習を行い、それらの体験を通して実社会で行われているモノづくりを経験しました。その際、本校で学んだことが基礎になっていることを実感すると同時に、知らないことも多くあったため、今の自分自身の知識が100%ではなく、社会に出てからも学ぶ意識を持つ重要性を改めて感じました。「知らないことに対する学び方を学ぶこと」が大事だと思い、それを意識しながら、残りの学生である期間を過ごしたいと思います。





学生の活躍

令和3年度 全国大会など



硬式テニス部

全国高専テニス選手権大会に出場して

情報工学科3年 山口 璃桜

私は宮城県仙台市で開催された第44回全国高等専門学校テニス選手権大会の女子シングルの部に出場しました。試合に参加してみて、自分の全力で試合に取り組むことができたという達成感や、高専在学中の目標の一つであった全国大会に参加できたという感動がありました。全力を尽くしても負けてしまった悔しさも残りました。今年の悔しさをばねに、来年も出場できるよう、これからも練習を頑張っていこうと思います。

最後にコロナ禍でいろいろ大変な中、支えてくださった顧問の先生方、部員の皆さん、ありがとうございました。



水泳部

全国水泳大会出場決定

機械工学科4年 面前 太郎

今年度は、水泳部代表4名(5種目)が12月に秋田で行われる全国高専大会へ出場します。新型コロナウイルスの影響で練習期間が短く、また大会参加人数を減らすため厳しい制限記録が設けられ、その中で上記の出場権を得ました。その内1名は近畿大会で大会新記録を出しています。来年度は、今年度中止されたリレーも含めて、大人気で全国へ行けるようになってほしいです！

現在シーズンオフで、来年に向けた陸トレ中心の練習を行っています。これからも応援よろしくをお願いします！



陸上競技部

2021年度全国高専体育大会(陸上競技)に出場して

物質化学工学科4年 山口 叶夢

私達陸上競技部は、9月4、5日にキューアンドエースタジアム宮城で開催された、全国高専大会に出場しました。今年は、近畿地区大会で好成績を収めた9名での参加となりました。結果は、3種目で準優勝、1種目で3位、2種目で入賞、女子総合8位という好成績を残すことができました。緊急事態宣言発令により、なかなか思うように練習ができず、モチベーションの維持等に悩まされた選手も少なくないと思いますが、部員全員が一丸となって戦い続けることができました。コロナ禍という大変な状況での開催でしたが、このような素晴らしい舞台に立たせていただいたことへの感謝を忘れず、これからも日々の練習に精一杯励みたいと思います。



ハンドボール部

全国高専ハンドボール大会出場に向けて

電気工学科4年 辻井 信平

僕たちは、12月に開催される全国高専大会に出場することになりました。新型コロナウイルスの影響により練習時間が例年に比べて少なくなり、練習試合もほとんどできない中での公式戦ということで不安もあったのですが、無事に近畿地区大会で優勝することができました。チーム一丸となり優勝できたことは全国大会に向けて大きな自信になりました。一昨年に出場した際には、予選リーグ敗退という悔しい結果に終わってしまったため、今回は前回を超える成績を残したいと思います。コロナ禍の中、大会を開催いただけることへの感謝を忘れず、全力を出し切りたいと思います。



弓道部

全国高専弓道大会に出場して

情報工学科4年 渡邊 幹

去年は新型コロナウイルスにより近畿地区高専弓道大会並びに全国高専弓道大会がなくなってしまい、今年は大大会開催が決定したものの、厳しいコロナ禍で練習もままならない状況ではありました。しかし、先輩方、同級生、後輩の支えもあって何とか全国への出場を決めることができました。このような結果を得ることができたのは、近畿地区高専大会を運営して下さった他高専の先生方、奈良高専の顧問の先生方の力があつたからだと思います。そして、全国高専大会では女子団体が2位、男子個人3位、女子個人2位といった結果を残せました。

部長となって初めて歴代の部長の偉大さを感じ、今年も全国大会まで行けるのかという不安もありました。大変な1年でしたがよい経験ができました。ありがとうございました。



機械研究会

第13回全国高等学校鉄道模型コンテスト全国大会参加報告

電気工学科3年 一ノ宮 遼

私たち機械研究会は、8月に開催された「第13回全国高等学校鉄道模型コンテスト全国大会」において、モジュール部門で2年振りに「理事長特別賞」、HO車両部門では「努力賞」を受賞しました。モジュールは京都府の三条京阪をモデルにしたもので、特徴的な川床と建物や鴨川、地下ホームと地下鉄の軌道などを忠実に再現しました。一方、HO車両は「大阪市交通局6000型」を出展しました。コロナ禍のため去年は活動制限があり、コンテストへの出品ができず、今年は両作品とも例年の半分以下の期間での製作が求められました。このような中でも作品を出展して賞を受賞することができ、顧問の先生方をはじめご協力頂いた方々には感謝の言葉しかありません。来年度も後輩達のより一層の活躍に期待しています。



情報処理研究会

ぐんまプログラミングアワードに参加して

情報工学科3年 井原 実咲
藤本 光
竹田 岳人



競技プログラミングのオフライン大会への参加は初めてだったので、とても緊張感を感じました。現地での開催で会場での緊張感の中、割と冷静に解ける問題から取り掛かることができ、結果として高校生以下の部で準優勝という結果を残すことができ嬉しく思います。また、芸人によるショーや表彰式など、オフラインならではの競技以外の部分も楽しくて印象的でした。初めて競技プログラミングに参加してプログラミングの楽しさに気づくことができました。これを機に新たなことに挑戦し、新たな可能性を広げていきたいです。

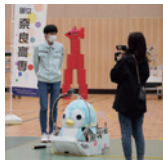
じゃんぺん復活プロジェクト

電子制御工学科3年 小谷 啓人

4月初旬に「世界の果てまでイッテQ!」から取材依頼を受け、からくり部員を中心とした『じゃんぺん復活プロジェクト』が開始しました。湿気が多い地下倉庫に4年近く放置されていたため傷みもあり、OBの方の協力も得てメカと外装の修理を行いました。また、本番に向けた縄回しの練習では、ロボットのタイミングに合わせることや、ロボットの位置に対して回す方向を微調整することがとても難しく、苦労しました。

取材当日、私は前日に縄を回しすぎて筋肉痛になってしまい大変でした。演者のいとうあさこさんは3時間以上縄跳びを跳び続け、その中でも面白い動画が撮れるようにコメントをするところがすごいと思いました。

今回の経験を通して、8年経っても動く設計と、無限にモーターで跳び続けられるじゃんぺんの足回りのすごさを実感しました。自分たちもじゃんぺんから学んだことを活かして歴史に残るロボットを作りたいです。



令和3年度(前期)学生表彰

<特別賞ハ> ※全国大会又はこれに準ずるに準ずる催し物において、それらと同等と認められる成績を挙げた個人又は団体に贈られます。

Robomaster 2020 Robotics Competition で Outstanding Captain Award を受賞

電子制御工学科5年 廣本 一真

<特別賞ニ> ※学校内外において特別な善行、学生の模範として推奨できる行為又は功労等のあった個人又は団体に贈られます。

令和3年4月16日 迷子の捜索に協力

電子制御工学科3年 勝田 大翔

電子制御工学科3年 竹田 悠十



学生会新役員挨拶

会長:島岡 宏彰(情報工学科3年)

この度学生会長に就任しました、島岡宏彰です。これまでの活動に依存しすぎず、学生会活動がより良くなるために頑張ります。よろしくお願いいたします。

副会長:阪本 靖大(電子制御工学科3年)

昨年度に引き続き副会長を務めさせていただきます、阪本靖大です。平生とは異なる状況下ですが、より良い学生会活動を形作るために頑張ります。よろしくお願いいたします。

副会長:田中 陽 一朗(情報工学科3年)

この度学生会副会長に就任しました。田中陽一朗です。1日でも早くコロナ禍以前よりも良い学生会活動ができるよう励みます。よろしくお願いいたします。

書記:竹田 岳人(情報工学科3年)

新型コロナウイルスの感染拡大によって学生会執行部も大変な状況にありますが、そのような状況でも次の年代に繋げていけるよう頑張ります。

書記:宮本 博司(機械工学科2年)

この度、書記に就任致しました。宮本博司と申します。学生会がより良いものとなるよう、小さなことから改善してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

会計:杉山 咲(情報工学科3年)

前々年度、前年度に引き続き会計に就任しました、杉山です。後に続く方々が安心して動いていけるよう、尽力いたします。よろしくお願いいたします。

会計:北田 恵裕
(電気工学科2年)

この度学生会会計に就任しました、北田恵裕です。まだまだ分からないことも多いですが、できることから頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。





クラブ・同好会紹介

vol.24

体育部		文化部	同好会
アーチェリー	ソフトテニス	からくり	化学同好会
合気道	卓球	機械研究会	合唱同好会
弓道	バスケットボール	軽音楽	クイズ研究会
剣道	バドミントン	茶道	現代視覚文化研究会
硬式テニス	ハンドボール	システム開発研究会	手芸同好会
硬式野球	バレーボール	将棋	生協学生同好会
サッカー	ラグビーフットボール	情報処理研究会	数学同好会
柔道	陸上競技	吹奏楽	電気技術研究会
少林寺拳法		美術	
水泳		放送	



ハンドボール部

電気工学科3年 原 大河

はじめまして。奈良高専ハンドボール部です。ハンドボールはあまりメジャーなスポーツではなく、知る人も少ないかと思われま。この競技はフィールド6人とキーパー1人で行う7人制で、空中の格闘技と言われるほど激しく熱く、とても盛り上がる競技です。僕たちは楽しくやる事をモットーに日々練習に励んでいます。月・木・土曜日は第二体育館、火・水曜日はグラウンドで練習を行っています。初心者さんでも経験者でもどなたでも大歓迎！ぜひ僕たちと一緒にハンドボールしてみませんか？



軽音楽部

機械工学科4年 小川 ジャンカルロ

僕たち軽音楽部は、平日と土曜日にオーディオルームで活動しています。活動日はバンドごと部室を使う日を決めて活動しているので、他の部活や同好会との兼部もやりやすいです。部内で参加するバンドを集め、放送部さんと協力して校内でライブを行ったり、学外のライブハウスで企画されたイベントにお邪魔したりなど、学校の内外で音楽を通じて様々な人たちとふれあうことができます。高専祭では例年ライブを行い、高専祭を盛り上げるとともに今までの練習の成果を発揮することができます。入部してすぐは、みんな楽器を触ったこともない人ばかりですが、部室でバンドメンバーと楽しく練習できるのですぐに上達して、1年生でもライブに出演することができます。みなさんも興味があればぜひ来てみてください。

学生支援センターから

カウンセラーだより

<あなたにとってゲームとは？>

カウンセラー
(臨床心理士・公認心理師)
福田 道代



コロナ禍が続く夏休みでしたが、そのような中開催されたオリピック開会式の選手入場が、ゲーム「ドラクエ」の音楽から始まり、とてもびっくりしました。ゲーム音楽が好きな私としては心躍るシーンでしたが、あなたにとってゲームとはどんな存在でしょうか。夏休み中、ゲーム漬けだった人もいらっしゃるでしょうか。ゲームにのめりこみすぎて、「ゲーム依存かもしれない」と心配している人もいらっしゃるでしょうか。

ゲームとの付き合い方の改善について、例えばゲームを全く止めてしまうのもありますが、「ゲームをすることですっきりする」など、ゲームをストレス解消や気分転換として利用する方法もあると思います。また、「ゲームの時間が長くなった。楽しくなくなった。」「ゲームをする気力がなくなってきた。」などから、ゲームを介して心身の調子を映し出すこともあります。ゲームに限らず依存しているものとの関係は、心のバロメーターにもなります。

もしゲームに支配されて日常生活がうまく機能しないならば、上手にゲームと付き合い方をカウンセリングで一緒に考えませんか。どうぞお気軽にご利用ください。

学生支援センター(学生相談)
Webページ

<https://www.nara-k.ac.jp/life/shien/soudan/>



学生支援ルーム～心の休憩室～について

「少し疲れたな。静かに過ごしたいな」という人のために、「学生支援ルーム」ができました。

教室とは違う場所で静かに過ごしたい時や「ほっと一息つきたいな・・・」という時にひとりでゆっくり過ごすスペースとして利用してください。静かにお昼を食べるスペースとしても利用できます。誰かに少し相談したいという時は、スタッフに相談する事もできます。

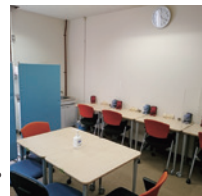
場所は総合情報棟1階です。
開室時間は月曜日～水曜日は9:00～17:00、
木曜日は10:30～14:00です。

利用の予約の必要はありません。

利用する際は、保健室か支援ルームのスタッフに声をかけてください。

スタッフ：月曜日～水曜日担当 桑原 豊(学生課)

月曜日・木曜日担当 佐々木 理恵(スクールソーシャルワーカー)





オンライン高専祭開催

物質化学工学科4年 奥 涼 奈

去る11月6日(土)に第55回奈良高専祭を開催させていただきました。今年のテーマは「lim(個性→∞)」ということで、奈良高専生の個性あふれる作品を展示・配信いたしました。学生の皆さんの協力もあり、当日のHPのアクセス数は2923にのぼり、大変多くの方々に見てもらうことができました。ありがとうございました。

今年の高専祭はオンラインだからできない、ではなくオンラインだからこそできる高専祭を目指し、HPのデザイン性の向上、吹奏楽部や軽音楽部のYouTube配信、Tシャツデザインコンテストなど様々なことに挑戦しました。



対面での実施を断念し、完全オンライン開催が決定してから1ヶ月という非常に短い期間でしたが、展示をしてくださった方や配信の協力をくださった放送部の皆さんのおかげで、無事高専祭を終えることができました。来年こそは対面での熱狂ある高専祭が開催されることを期待し、楽しみに待っててください。



関西NBCニュービジネスアワード(ビジネスプラン部門) 最優秀賞を受賞して

システム創成工学専攻

機械制御システムコース2年 末 永 共 助
機械制御システムコース2年 池 山 哲 良
機械制御システムコース2年 服 部 圭 一 郎
情報システムコース2年 西 川 勇 太

私たちは、今年2月26日に行われた「関西NBCニュービジネスアワード2020(ビジネスプラン部門)」において、最優秀賞を受賞しました。私たちのチームは、機械工学と電子制御工学、情報工学の異なる専門知識をもつ4人で構成されています。この特徴を活かし、様々な観点から新規ビジネスプランを考え、本ビジネスコンテストに挑戦しました。

私たちが提案したビジネスプランは、コンテストを通してアイデアを持つ人と技術を持つ人がつながることを実現するサービスです。本ビジネスプランの着想に至ったきっかけは、本校における専攻科の社会問題解決型の授業でした。様々な学科の異なる知識を有する学生が集まり、グループ活動を通して課題解決や価値創造をおこなうという形態は、革新的なアイデアを実現するうえで非常に有効であると考えました。

今回、本校の教育理念である「創造の意欲」を踏まえた我々のビジネスプランが受賞に至ったことは大変名誉なことであり、このコンテストへの挑戦は貴重な経験であったとチーム一同感じています。今後も、奈良高専で培った学びを活かし、何事にも果敢に挑戦していきたいと思っております。



高専からKOSENへ ~Society5.0人財の育成に向けて~ 物質化学工学科 准教授 山田 裕 久

本校では、令和3年度より『高専発!「Society5.0*型未来技術人財」育成事業』内の『GEAR5.0 未来技術の社会実装教育の高度化』というプロジェクトに取り組むことになりました。ご報告と事業のご紹介をさせていただきたいと思っております。

国立高等専門学校機構のもと各高専は、第3期中期目標期間(平成26年4月~平成31年3月)までに各専攻の分野毎に共通の教育の質保証、地域特性等を踏まえた特色形成を進め、各地域の個性ある「点」として教育を展開する体制を整えてきました。続けて、第4期中期目標期間(平成31年4月~令和6年3月)には、地域密着型・課題解決型・社会実装型など従来型の高専としての特長を活かしつつ、国連の掲げた目標「持続可能な開発目標」SDGs(Sustainable Development Goals)やICTを駆使した日本の構想であるSociety5.0時代の未来技術の中核となる人材育成に取り組んでいます。

そして、国や地球、そして人類を対象としたより大きな社会の要請に応えるため、令和2年度よりSociety5.0時代の未来技術の中核となる人材の育成を目的とする事業がスタートしました。また、令和3年度の公募では、奈良高専が提案した『K-SMARTが拓く超スマート社会の実現に向けた実装技術の開発』が採択されました。奈良高専が防災・減災(エネルギー)ユニットの中核拠点校となり、国立高専機構(51国立高専=1法人)の組織としてのスケールメリットを最大限に活かして事業を実施します。

全国高専を代表して、スマート社会に必要なエネルギー(燃料電池や次世代リチウム電池、全固体電池、太陽電池etc.)と活用される多様なICT/IoT、AI関連技術について学生が社会実装研究を通じて、新しい時代にも対応した知識や技術を身につけられる体制を整備していきます。

Gear5.0 防災・減災(エネルギー)
「K-SMARTが拓く超スマート社会の実現に向けた実装技術の開発」
中核拠点校(奈良高専)、協力校(第一ブロック)高小牧高専、(第二ブロック)長岡高専、(第三ブロック)米子高専、(第四ブロック)磐城高専

超スマート社会に向けて全国高専の社会実装技術を集約

基幹技術:
 ①分散型エネルギーデバイスの開発
 ②物質変換技術の開発
 ③ICT-AI技術の開発

重点課題:
 ・スマートモビリティ
 ・スマートハウス

スマートモビリティ技術の開発
 ・次世代電池 (FC, LIB, LI-S, SB etc.)
 ・センサー関連技術の開発
 スマートハウス技術の開発
 ・寒冷地でのEMSハウス実証試験(ヒートポンプ)
 ・化合物半導体太陽電池モジュールの実証試験

Energy: 燃料電池, 二次電池, 太陽電池
 Emergency: 水素エネルギー, 災害予測, センシング
 Life: スマートハウス, 睡眠, 自己学習
 Agriculture: 省エネネットワーク
 Industry: 付随業, Logistics, Factory

*Society5.0: 「サイバー空間とフィジカル(現実)空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)」





グローバル教育センターから ~令和2・3年度入学留学生紹介~



機械工学科4年
リズワン

リズワン ビン ラシド
RIDZWAN BIN RASHID

こんにちは、4Mのリズワンです。マレーシアからの留学生です。姉が2人いて、私は末っ子です。好きな科目は機械力学です。暇な時、ジムで運動します。好きな食べ物は天ぷらです。約2年間、私はここで勉強していて、たくさんの友達ができ、大阪、京都、神戸、姫路など、日本の観光地に行きました。私は日本語が苦手なので、勉強するのが大変なことがあります。しかし、日本人や留学生の中に、勉強を手伝ってくれる友人がいることは、とても幸運なことです。また、先生方もとても親切です。卒業まであと1年半ありますが、奈良高専を卒業したら、日本の大学で勉強を続けたいと思っています。あと1年半、よろしくおねがいします。

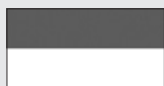


電子制御工学科4年
アドリアン

アドリアン ウィー イアン キアット
ADRIAN WEE YIAN KIAT

こんにちは、アドリアンと申します。マレーシアからの留学生です。日本に来る前に、2年間日本語を勉強しました。日本に来てから、もう1年間経ちました。遠隔授業と比べて、やっぱり対面授業の方が楽しいです。今年の春に、花見に行って、とても綺麗でした。そして、スノーボードもしました。とても、楽しかったです。マレーシアでは体験できないことをこれからも日本で体験したいと思います。コロナウイルスが収まってから、北海道や九州などのところに旅行したいです。

日本に留学するのは5年間の予定でしたが、コロナウイルスの影響で、4年半になりました。でも、日本にいた間に、日本語を話す力を生かして、将来必ず役に立つと思います。日本で専門の知識を勉強するだけでなく、日本の文化も学びたいと思っています。これからもよろしくおねがいします。



情報工学科4年
ザイダン

ヤーヤ ザイダン
YAHYA ZAIDAN

初めまして、インドネシア出身のザイダンです。現在、奈良高専の情報工学科で勉強しています。奈良高専へ来る前に東京での日本語学校で1年間日本語を勉強しました。そのときマレーシア、中国、ブラジル、モンゴルなど、様々な国から来た人がいて、別々の文化と考え方の人と友達ができ、自分の親や家族と遠く離れて暮らしても、一人暮らしとは思わなくて、毎日楽しい生活をしていました。また、彼らが日本へ来るのには、それぞれの理由を持っていますが、私自身は、日本は技術の面が世界で最も先進的な国の一つですので、日本で情報工学に関する技術を身につけたいと思っています。そして、なぜ自分が情報工学科を選んだのかは、中学校時代からプログラミングに興味を持っているからです。そのときは単純なWebサイトを作成し、高校時代ではプログラミング競技などをやっていた。これからも情報工学に関して、様々なことを学びたいと思っています。具体的にはソフトウェア設計についてです。また、奈良高専卒業してから、大学に進学したいと思っています。皆さん今後ともよろしくおねがいします。



物質化学工学科4年
プспа

アディセプトラ プスパデウィ
ADISEPUTRA PUSPADEWI

初めまして。インドネシアから来たプспаです。奈良高専に行く前に、東京の日本語学校で日本語を勉強しました。私は日本に到着した時、温度は7℃でした。インドネシアは1年間中暑いので、空港に着いた時から寒さをすぐに感じ、「あ、本当に日本だ。」と思いました。奈良高専にはクラブと行事が多くあるので、私は勉強だけでなく、様々なことを体験してみたいです。今は手芸同好会に所属しており、毎週様々なものを作りながら友達と遊んだり話したりするのはすごく楽しいと思います。卒業後、日本の大学に進学し、たくさんの知識を身につけたいと思っています。皆さん、よろしくおねがいします。



電気工学科3年
シジレー

バトエルデネ シジルバト
BAT-EREDENE SHIJIRBAT

こんにちは、モンゴルから来たシジレーです。留学することにした理由は、日本の優れた技術を身につけることだ。来る前、モンゴルの科学技術大学でM-JEED1000エンジニアというモンゴルの政府から行なわれているプロジェクトに参加して、日本語や化学、物理などを1.5年間勉強した。それでEJU試験に合格したが、TOEIC試験に落ちて留学出来なくなった。それにもかかわらず日本に留学するために1年間頑張って英語の勉強をしてTOEIC試験に合格し、奈良高専の電気工学科で勉強することになった。来てばかりの時、困ったことが多くあったが優しい日本人たちのおかげで解決出来た。今は水泳部に入ってたくさんの友達を作って、時間を楽しく過ごしている。日本の生活にどんどん慣れてきたが今もわからないものがたくさんある。しかし、困った時優しく助けてくれる日本人のおかげで安心なので、心からありがたいです。私は将来モンゴルを発達させる良いエンジニアたちの一部になるために頑張ります。みんなさんよろしくおねがいします。



電子制御工学科3年
アリフ

ムハンマド アリフ ファルハン ビン アブドゥルガニ
MUHAMMAD ARIF FARHAN BIN ABD GHAN

こんにちは、アリフと申します。マレーシアから来た留学生です。日本に来る前に2年間、母国で日本語を勉強しました。日本語を習ったのは初めてだから、ちょっと大変だと思いましたが、今まではどんどん慣れて来ました。父をきっかけにして、日本に留学するのは中学校からの希望でした。コロナの大変な状況がまだ続いているのですが、やっと来日することができました。皆と一緒に生活するのを楽しみにしています。

絶対にやってみたくことがたくさんあります。例えば、大阪に行ったり、花見に行ったり、富士山に登ったりすることです。奈良高専を卒業してから、進学するつもりですが、どこの大学に行くのかまだ決まっていません。ありえないものですが、できれば大阪大学や東京工業大学などに進学したいです。日本は電子に関する機械が得意だから、この学科を選んだわけです。新しい技術の作り方を習うのは僕の目標になります。皆さん、3年間よろしくおねがいします!



物質化学工学科3年
ジュスティアン

チャンドラ ジュスティアン
CHANDRA JUSTIAN

初めまして、インドネシアから来たジュスティアンです。奈良高専に来る前に、東京日本語学校で日本語や一般科目を勉強しました。東京日本語学校で1年間勉強するはずでしたが、コロナウイルスのせいで、来日するのが延期されて、半年間の間に勉強するようになりしました。その時、遅刻した授業を一生懸命追い付いて、とても大変でしたが、最後に学校を合格出来て、奈良高専にも進学出来て、良かったと思います。物質化学工学科を選んだ理由は、化学や、生物や、技術のことが好きだからです。将来は化学や生物関係に基づいて、発展している技術を使って人間の生活に役に立つ製品を発見したいと思います。そのために、日本に留学しました。

今は奈良高専で3年間を勉強して、色々な事を体験してみたいです。そして友達もたくさん作って、日本と自分の国のことなどに交流を深め、楽しい3年間を過ごしたいです。これからよろしくおねがいします。





Library News ～図書館だより～

図書館と主な関連行事を紹介します

令和2年度・3年度は新型コロナウイルス感染症対応のため、行事の内容や時期を変更しているものもあります。

科学道100冊

国立研究開発法人理化学研究所等の書籍を通じて、科学者の生き方・考え方、科学のおもしろさ・素晴らしさを届けるプロジェクトで選考された図書です。

名誉教授 宮本止戈雄先生より、本校学生の教育・研究に資するため寄贈いただきました。



ラーニングcommons

勾玉テーブルとファミレス席があります。本校学生・教職員は平日のみ使用することができます。ホワイトボードもあるので、グループでディスカッションしながら勉強できます。



自動貸出返却機

本校学生は貸出と返却の両方、返却はどなたでも処理することができます。詳しい使い方は、学生図書委員作成の図書館紹介動画をご覧ください。ホームページより視聴できます。



ブックハンティング (6月・11月)

学生図書委員を中心に、各クラスで購入希望図書を募り、その図書を大阪の大型書店で購入する活動ですが、コロナ禍においてはオンラインで実施しています。6～7月にオンラインで実施し、購入した図書は、1階奥のブックハンティングコーナーに並びます。11月実施分は冬休み前には並ぶ予定ですので、これらの図書を読んで冬休みを有意義に過ごしてくれることを期待しています。

読書感想文コンクール

夏休みに低学年を中心に実施しています。最優秀賞・優秀賞に選ばれた感想文は、図書館だよりに全文が掲載されます。佳作以上の受賞者には表彰状・図書カードの副賞が贈られます。

多読表彰

年末に貸出冊数の多いクラスおよび個人を確定し、1月に表彰します。個人多読賞上位10名には表彰状・図書カードの副賞が、貸出上位5クラスには表彰状・図書購入権の副賞が贈られます。



学生図書委員会の活動報告

電気工学科5年 堀江 太成

この場をお借りして今年度の学生図書委員会の活動報告をさせていただきます。委員会の活動で、学生が図書館を利用したいと思えるような企画をいくつもしてきました。今年度は6月のブックハンティングと高専祭の動画制作をしました。

今年度の高専祭は昨年に引き続きオンライン形式での開催となりました。昨年を超えること、話題性があり図書委員会の名が少しでも多く行き渡る動画を制作することを最大の目標として高専祭プロジェクトの活動をしました。

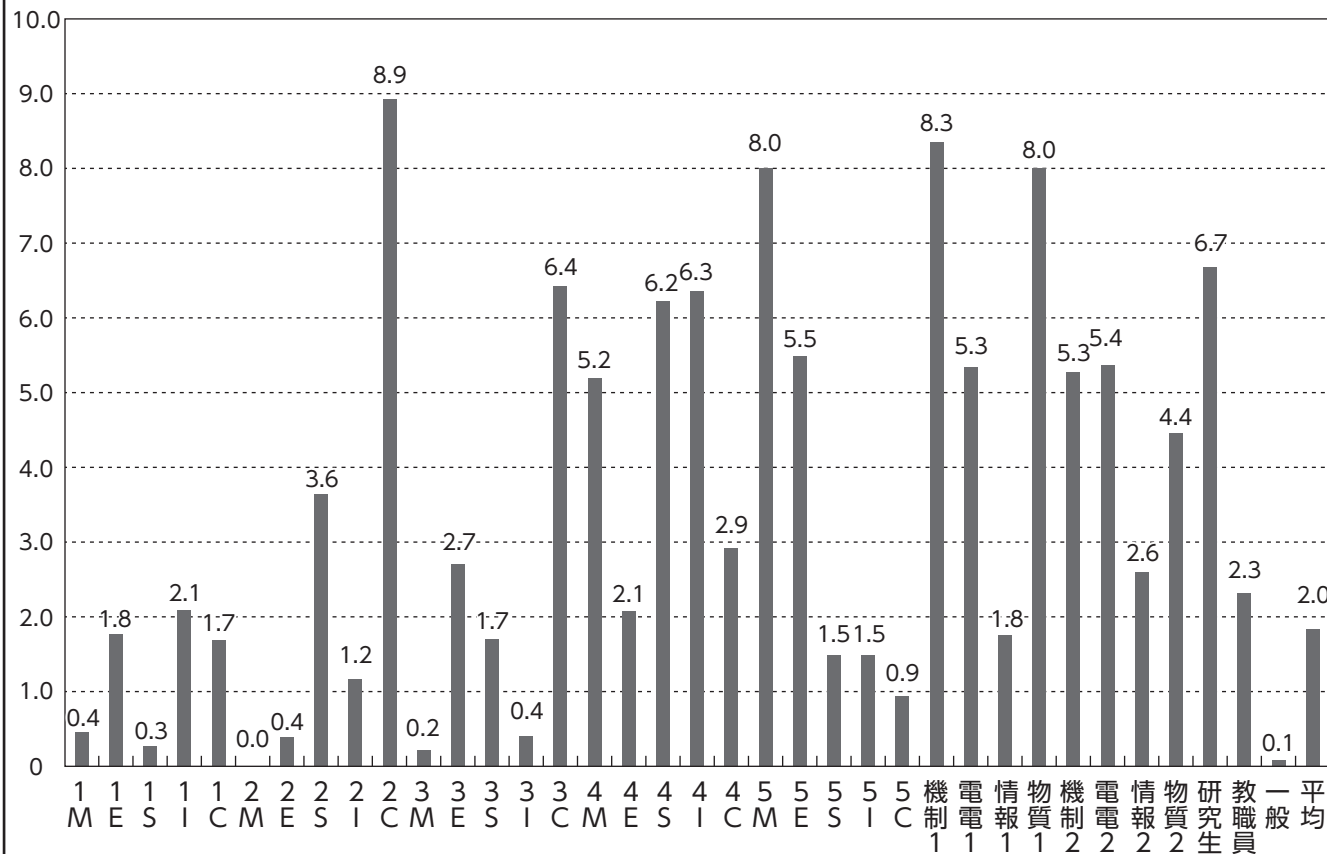
エンタメ性があり、見終わった後に考えられる動画。前途多難な挑戦だったこともあり企画段階では意見が纏まりませんでした。“動画”という考え方に縛られていたことが一つの原因でした。

映像を上手く撮れない、構図を考えられないのであれば、思い切って“読み物”にしてやろうと画策しました。こうして高専祭用の動画が完成しました。メッセージ性の高い作品に仕上がったのではないのでしょうか。

最後に、今年度の学生図書委員会では図書館利用の促進を行うだけでなく、本や言葉の魅力を知ってもらいたいと考えております。これからも学生の勉学を手伝うだけでなく、学生の生活を豊かにできるような活動を行っていきたい所存でございます。是非、立ち寄るだけでも良いので気軽に図書館を利用してみてください。もしかすると素敵な本との出会いがあるかもしれません。

図書館利用実績

昨年度(2020年4月~2021年3月)のクラス別一人あたり貸出冊数 総貸出冊数3,916冊



高専ロボコン2021近畿地区大会報告

Bチーム優勝!! Aチーム技術賞受賞!!

電子制御工学科4年 宮田 丈太郎

10月31日、高専ロボコン近畿地区大会が高専ロボコン史上2回目のオンライン開催で行われました。私たちロボコンプロジェクトからはAチーム「華籃球麗(からくり)」、Bチーム「二ノ鹿跳(にのしかちょう)」の2チームで出場しました。

今年度の高専ロボコンのテーマは「超絶機巧(すごロボ)」。作り上げたロボットの「凄技」をプレゼンや実況、演出を交えたパフォーマンスで披露し、その「凄さ」を競うという内容でした。私たちは、見ている人にしっかりとロボットの凄さを伝えるには、誰もがやったことのあるスポーツに挑むのが良いと考えました。そこで、Aチームはバスケットボールに挑み、ロボット同士のパスとスリーポイントシュートやレイアップシュートのシュートを披露しました。対してBチームは1台の大仏型のロボットが人と一緒に縄を回し、2台の可愛い鹿のロボットが仲良く縄を跳び大縄跳びのパフォーマンスをしました。

ロボットの完成度を高めることももちろんですが、オンライン開催であったことやプレゼンも評価基準に含まれていたこともあり、大会前には見ている人にしっかりと凄さが伝えるためにカメラマンの練習をしたり、プレゼンの準備をしたり、Zoomを繋いで見え方や聞こえ方をチェックしたりと普段の高専ロボコンでは味わえないような苦労がありました。

その苦労の甲斐あって、Bチームは大会当日に完璧なパフォーマンスを見せ、40点中37点を獲得して優勝しました。Aチームは、3台のロボットのうち一台が故障するトラブルに見舞われたものの、正確なパスとシュートやロボットが全自動で制御されている点などが評価され技術賞を受賞しました。

11月28日に東京の国技館で、全国大会が2年ぶりにオフラインで開催されます。去年の大会では地区大会敗退に終わった私たちにとっても、2年ぶりの全国大会となります。ベストパフォーマンスを発揮できるよう全力で取り組みますので、応援よろしくをお願いします。



学生課窓口 のご案内

～保護者の皆様へ～

学生関係の担当窓口は次のとおりです。用件により該当する係の電話番号へ直接お問い合わせください。受付時間は平日8時30分～17時です。学生の呼び出しや伝言は行いませんので、あらかじめご了承ください。

教務係 0743-55-6033

授業、定期試験、教科書、学籍異動(休学・復学・退学・卒業)欠席・忌引・公欠・出席停止、大学編入学、専攻科、インターンシップ、学生証、住所・保証人等変更、在学・成績証明書 など

学生係 0743-55-6034

奨学金、高等学校等就学支援金、授業料等の免除・徴収猶予、課外活動、コンテスト、自転車・単車通学、免許、学割、通学証明書、就職 など

入試係 0743-55-6032

入学試験、体験入学、入試説明会、研究生・聴講生 など

寮務係 0743-55-6035

寮生の生活、寮の諸経費、在寮証明書 など

保健室 0743-55-6172

保健衛生、カウンセリング相談予約、学生生活での怪我の保険 など

行事予定 (12月～3月)

- ◆ 12月 1日(水) 1～5年生後期中間試験(11月30日～12月6日まで)
- ◆ 12月 4日(土) 全国高専デザインコンペティション
- ◆ 12月 6日(月) 安全対策講習会(AED)
- ◆ 12月 9日(木) 人権教育特別講演会(5年) 学寮5年生と語る会
- ◆ 12月13日(月) 公開授業(17日まで)
- ◆ 12月16日(木) 進路ガイダンス(4年生)
- ◆ 12月18日(土) 全国高専体育大会(水泳 19日まで)
- ◆ 12月22日(水) 全国高専体育大会(ハンドボール 23日まで)
- ◆ 12月23日(木) 人権教育特別講演会(専攻科生・教職員対象) 学寮大掃除
- ◆ 12月24日(金) 閉寮
- ◆ 12月25日(土) 冬季休業(1月4日まで)
- ◆ 1月 4日(火) 全国高専体育大会(ラグビーフットボール 9日まで) 閉寮・寮生集会
- ◆ 1月 5日(水) 全校集会
- ◆ 1月 6日(木) 月曜振替授業
- ◆ 1月12日(水) 月曜振替授業
- ◆ 1月13日(木) 入学試験前全校清掃
- ◆ 1月14日(金) 特別日課(学生登校禁止 16日まで)
- ◆ 1月15日(土) 令和4年度入学試験(推薦)
- ◆ 1月20日(木) 冬季リーグス研修会 学寮留学生と語る会
- ◆ 1月22日(土) 全国高専英語プレゼンテーションコンテスト(23日まで)
- ◆ 1月31日(月) 1～5年生学年末試験(2月4日まで)
- ◆ 2月 4日(金) 専攻科後期授業終了
- ◆ 2月 7日(月) 補講日・試験予備日 専攻科特別研究発表会候補日 学寮5年生を送る会
- ◆ 2月 8日(火) 学寮5年生を送る会
- ◆ 2月 9日(水) 木曜振替授業 入学試験前全校清掃
- ◆ 2月10日(木) 特別日課(学生登校禁止 15日まで)
- ◆ 2月13日(日) 令和4年度入学試験(学力)
- ◆ 2月17日(木) 月曜振替授業
- ◆ 2月18日(金) 全校集会
- ◆ 2月22日(火) 閉寮
- ◆ 2月25日(金) 特別日課(学生登校禁止 3月1日まで)
- ◆ 2月27日(日) 令和4年度入学試験(学力)【追試】
- ◆ 3月 2日(水) 5年生不可(A)再試験
- ◆ 3月19日(土) 令和3年度卒業式・修了式
- ◆ 3月20日(日) 学年末休業(31日まで・春季休業4月1日～4日まで)
- ◆ 3月24日(木) 令和4年度入学・入寮予定者オリエンテーション

編集後記

COVID-19の感染拡大状況を考慮した学生活動が続いており、withコロナの8か月間でした。残念ながら中止や延期となったイベントや大会がある一方で、今号では全国高専大会等の活躍を紹介することができ、大変うれしく思います。また、スポーツ大会を2年ぶりに実施することができ、学生諸君が楽しむ様子も見られました。次号では、より多く対面イベント紹介ができることを願っています。 奈良高専広報センター

CAMPUS について

本校では、広報誌「CAMPUS」を11月と3月の年2回発行し、在学生の保護者の方々へ送付しています。また、「CAMPUS」は本校ホームページ(トップページ>学生生活>CAMPUS(広報誌))にも掲載しています。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙をリサイクルできます。